

西脇市手話講座についてのアンケート集計

■手話講座をどこで知りましたか？

- ・ 紹介
- ・ 市の広報
- ・ 在園児のケース会議にて手話講座があることを知った
- ・ 社会福祉課から
- ・ 出前講座
- ・ こどもに配布されたクリアファイルをきっかけに
- ・ 知人を通じて
- ・ 高齢者大学に行った地域の方から教えてもらった

■感想

- ・ 昨年も受け今回で2回目だったが初めての職員もいた。日常使わないために忘れてしまっていたので継続して手話を使うことの大切さを知った。聴覚障害のある学生を受け入れるための研修でもあったため今回の手話講座をいかし、積極的にコミュニケーションを取りたい。
- ・ 初めての体験でとても感動した。楽しく学べた。
- ・ 知らないことばかりで勉強になった。
- ・ 毎日少しずつやりたいと思う。
- ・ 手話で自己紹介ができて嬉しかった。
- ・ 涙がこぼれるほど感動した。交流会形式はとても良かった。
- ・ 障害を持つ方の気持ちが少し理解できた。
- ・ 手話は難しいというイメージがなくなり、表情やジェスチャーからも気持ちを伝えることが大切だと分かり、手話を通してコミュニケーションの輪を広げたいと思う。
- ・ 口話体験から相手が何を言っているか理解する難しさも学べた。手話が必要。
- ・ 何回も体験、学習、練習をすることで手話が身近なもの、自然にまわりにあるような地域にしたい。イヤーマフでの疑似体験など工夫された内容だった。
- ・ イヤーマフの聞こえにくい状態での会話は、不安も大きく疎外感を感じた。日々の生活の辛さをイメージできた。
- ・ 手話は今まで「できない、知らない」と思っていたが、伝えたいという気持ちが大切で、「言葉」であるということを感じられた。
- ・ デイサービスの利用者の方が笑顔で過ごされ30分ほどで「ふるさと」の手話歌も覚えられ、帰宅前にもしてみたがほとんどの方が覚えておられたことに職員達も驚いた。継続の講座をしてほしい。
- ・ 新たな学びがあり自分の生活を見直すヒントになった。もっと深く学びたい。
- ・ 手話の構成がどのようにできているか少し理解できた。
- ・ もっと早く手話を教えてもらえばよかった。

- 手話について何も知らなかったが、今回の講座で少しわかった。
- 手話でコミュニケーションがとれた喜びを実感でき、貴重な体験だった。
- 実体験の交流は大変良い。
- 手話で趣味の話しができたことが良かった。
- なかなか難しかった。
- 聴覚障害者協会やサークルの方との交流は2回目。おかげで顔見知りになれば、手話であいさつ程度はかわすことができるようになった。日常会話を少しでも習得したい。
- 手話で少し会話ができて手話が身近になった。言葉が通じるのは心が通じることで本当に大切なこと。
- 手話ができなくても身振り手振りで自信を持ってコミュニケーションが取れそうだ。
- 手話を忘れてもまた覚えれば良いと言ってもらえたので気持ちがラクになった。
- 手話ができれば聞こえない人と話し合える。
- 補聴器のことがわかってろう者の苦勞を知った。
- もっと多くの人々に手話を広めてほしい。
- 呼ばれたことがわからずに、病院で長い間待たされたことなど知らなかったことを知ることができた。